

校長室だより

11月号

子供たちが毎日、楽しく健やかに登下校し、大切な時間を過ごす学び舎・学校でありたいと思います。そして何よりも学校卒業後、社会に出て自分の居場所を見つけ、周りの人と協働し、環境に順応し、心地よく生活するとともに周りの人・環境にも挨拶や心配りできる優しい人になってほしいと願っています。

毎朝、小学部児童はスクールバスや保護者の方に見守られ校門をくぐり、中学部高等部の生徒は遠路自転車で登校する生徒、電車、バスなど公共交通機関を乗り継いでバス停から徒歩で校門をくぐる生徒、また慣れるまで保護者の方に送迎していただいて校門をくぐる生徒とそれぞれです。頑張っ



て登校してきたそんな子供たちを我々教職員は暖かくお迎えし、挨拶声かけし、下校時は見送ります。そして校門や玄関はできるだけ華やかに「お花」を咲かせて五感で心のやすらぎを感じ、一人一人の居場所になってほしいと願っています。

我が学び舎を美しく過ごしやすい居場所にする 것과併せて、本年度から附属特別支援学校新企画「和歌山大学キャンパス美化」として「WAKAYAMA UNIV BEAUTIFUL CAMPUS PROJECT」と銘打って大学構内を美しくこころ和む環境にすることをめざして取り組んでいます。附属学校校内で児童生徒がプランターに季節の花を寄せ植えしてそれを大学構内（第1弾は教育学部棟玄関付近及び特別支援教育室棟玄関）に設置しています。当初は「水やりや花の手入れをどうしようか」悩みましたが、大学の先生方のお手伝いや学生さんへの声かけ、教授会でのPRのお陰で、花苗の植え換えをしながらも美しく咲いています。大学の先生方や学生さんの「気持ち」に感謝するとともに、「自分の大学の美しいキャンパス」の気持ちを



を上げることができれば嬉しいと思っています。また、本校高等部作業班「ビルメンテナンス班」は窓ドアのクリーニング活動に取り組んでいます。校内の廊下、教室、職員室、校長室、体育館、ランチルームなど順番にクリーニングする他、地域の県立図書館、県立環境衛生研究センターなどへ定期的に出向いて清掃活動しています。加えて、大学へも出向き教育学部棟玄関、特別支援教育棟、そして過日図書館、学生会館、そしてコンビニエンスストアのガラス窓、出入りロドアなども清掃させていただきました。学校名入ユニフォームを着用し、大学の学生や教員にも生徒の清掃業務をみていただき、声をかけてもらい自己肯定感の向上につなげています。地域や大学に貢献して喜んでもらう活動は、「社会に開かれた教育活動」につながる「こころのビューティフル・プロジェクト」と捉えています。

